



取扱説明書

AMEX-A07 / A07W / A07TR ドライブレコーダー



Ver.1

《重要》ドライバー様へ

時間経過に伴い、録画データが上書きされる仕様となっております。事故等有事に遭遇した場合は、安全に停車したのち、本機電源をOFFにしSDカードを抜き取り保管してください。

または本機上部に接続されている電源ケーブルを抜き取り、動作を完全に停止させてください。

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

製品を安全かつ正しくお使い頂くため、あらかじめ本書をよくお読みになり内容を十分にご理解の上で製品を使用してください。また本書巻末に保証書が付属しておりますので、紛失のないよう保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使い頂き故障や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ずご一読くださいますようお願い申し上げます。



警告 この表示は、誤った取り扱いをすると、使用者または車が重傷を負う可能性が想定される内容を表示しております。



注意 この表示は、誤った取り扱いをすると、物的損害及び製品故障の発生が想定される内容を示しています。

免責事項

- 製品の動作の正常・異常に関わらず、犯罪・事故が発生した場合の被害について当社は一切責任を負いません。
- 製品の設置(取付け・取り外しなど)により生じた車両等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
- 自然災害及び当社の責任以外の火災・第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能状態から生じる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失等)に関して、当社は一切責任を負いません。
- App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
- Google,Android,Google Playは、GoogleLLCの登録商標です。
- microSD,microSDHC,microSDXCは、SD Associationの登録商標です。
- WiFiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。



警告

水などがかからないようにしてください。

- 車外への設置をしないでください。またぬれた手では操作しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

分解・改造しないでください。

- 本機を分解・改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

異常状態で使用しないで下さい。

- 高温や悪臭などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。その際はすぐに使用を中止してください。煙や臭いが出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼下さい。機器の分解は危険ですので絶対にしないで下さい。

この製品の取扱いについて

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。故障・火災・感電の原因となります。
- 本機や付属のケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないで下さい。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないで下さい。機器やケーブルが破損し火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で本製品を触れないで下さい。防水仕様ではありません。

落としたり、破損したときは

- 本機を落としたりして、破損した場合は使用を中止し販売店にご連絡ください。



注意

設置場所について

- フロントガラスのドライブレコーダー取り付け位置は、法律により制限されています。フロントガラスの実長20%範囲内の、フロントガラス上部に取り付けてください(保安基準に準拠のうえ)。この際、ルームミラーの動きを妨げないように注意してください。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。故障・火災・感電の原因となる事があります。

この機器の取扱いについて

- 本機付属のケーブルを熱器具に近づけないで下さい。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張らないで下さい。ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

- 安全のため電源ケーブルを外すか、メイン電源を落としてください(車両側バッテリー保護のため)。

microSDカードについて

- microSDカードは一方向きしか入りません。無理に押し込むと機器が壊れることがあります。

車両バッテリーの点検

- 駐車録画は車両の常時電源を使用しております。定期的に車両バッテリーの点検を行ってください。

事故発生時の注意

- 事故後の車両移動などで録画データが上書きされてしまう事があります。事故に遭遇した場合は本機電源をOFFにし、SDカードを抜き取り保管してください。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心掛けください。
- 本機の使用及び外観、アイコン、表示名、表示の内容は実際と異なったり、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 駐車録画は車輛の常時電源を使用しているため車輛のバッテリーに負担がかかります。特に週1回の走行・1日の走行が1時間以内・車輛バッテリーを1年以上使用している、場合は定期的に車輛バッテリーの点検を行ってください。
- 駐車録画後の車輛バッテリーは電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車輛バッテリーの充電を行ってください。
- バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機を長期間使用されない場合、本機の電源スイッチをOFFしてください。
- 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- 運転者は走行中に本機を操作しないでください。

録画についての注意

- 本機は連続で映像を記録しますが、全ての状況下において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や本機使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシー等の権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切その責任を負いません。
- LED式信号機は色の識別ができない場合や、点滅して撮影される場合があります。その場合は、周辺車両の動きや前後の映像より判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切その責任を負いません。
- 事故発生時は、録画データが上書きされないように本機電源OFF後、SDカードを抜き取り保管して下さい。
- 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをされますと、データが破損する恐れがあります。

※本機に静電気や電気ノイズが加わった場合
※通電(録画)中にSDカードを取り出した場合

※水に濡れたり、強い衝撃を与えた場合

※長期間使用しなかった場合

アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電力が低下することがあります。これにより本機の電源がOFFになる場合があります。

特殊車での使用について

- 大型、特殊車両（トレーラー、建機等）においては、車両からの過電圧、過衝撃により製品本機が故障する場合や正常動作しなくなる場合があります。事前にご確認をお願いします。

電機自動車／ハイブリッド車などでの使用について

- 供給電力の低下に伴い、走行中であってもLBP機能が作動してしまい電源がOFFになる場合があります。

microSDカードについての注意

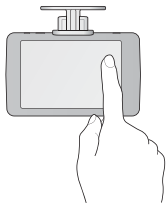
- SDカードの取出しは、必ず電源OFFの状態で行ってください。本機動作中にSDカードの取出しや、挿入を行うとSDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をしてください。長期間ご使用になると、劣化に伴う不良セクタの多発などにより録画不良やSDカード故障につながります。
- SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存する等、別媒体での保管をお勧めします。
- SDカードは必ず本機でフォーマット後、使用してください。
- SDカードのメーカーによっては、相性の問題で使用できない可能性がございます。相性による商品の動作保証はございませんので予めご注意ください。
- 本機でのSDカードは16～256GB、Class10（推奨：MLC）以上をご使用ください。
- SDカードは消耗品ですので一定の使用期間が経つとメモリの一部が損傷されて正常な録画ができない場合があります。
- SDカードによる不具合が発生した場合は、新しいSDカードと交換してください。
- SDカードは消耗品の為、保証対象外となります。

撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、ひずみや、影が生じることがあります。これは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

タッチパネルについて

本機の操作は、タッチパネルに直接触れて(タッチして)行います。操作する際は、本機を片手で支え、画面に表示されたボタンを指先でタッチしてください。


 注意

- 市販の液晶保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 片手で本機を支えながらタッチパネルを操作してください。本機の傾き方が変化するとGセンサーによって機能の一部に影響が出る場合があります。誤作動を起こした場合は、傾きを戻し電源を入れなおしてください。
- 操作の実行は、タッチパネルをタッチして指を離したときに判定されます。またタッチした場所と指を離した場所が大きく移動していた場合、正しく判定されない場合があります。
- 本機のタッチパネルは感圧式です。しっかりタッチして操作してください。また2箇所以上同時に押すと誤作動の原因となります。
- 感圧式のため、タッチした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

※ タッチパネルの反応にズレが発生した場合、以下の手順で調整してください。

<メニューより>設定-システム-LCD-タッチ補正

<本機側面の電源ボタンより>電源ボタン1回/1秒間隔で2回押す

※ボタンを放したタイミングで効果音が鳴きます

 注意

使用する際は次の内容を守ってください。

- 走行中には、本機を絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作を行うか、車両を停車してから操作を行ってください。
- タッチパネルを強く押ししたり、先の劣ったもので押さないで下さい。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの汚れは市販の眼鏡拭きなどで乾拭きしてください。水、有機溶剤及び酸・アルカリ等の薬品で表面を拭くと故障の原因となります。

1.	製品の特徴	09
2.	製品構成	10
3.	各部の名称	11
4.	主な仕様	12
5.	設置方法	18
6.	操作方法	22
7.	スマートフォン連動	38
8.	SDカードのフォルダー内容	42
9.	専用ビューアのインストール方法	43
10.	専用ビューアの説明	45
11.	アップデート方法	56
12.	故障かなと思ったら	57
13.	製品保証	63

1. 製品の特徴

SDカードフォーマットフリー

独自フォーマットを採用することで、録画保存領域を予め断片化させ、データのデフラグや再整列を効率的に行うため、定期的なメンテナンスが要りません。

データ自動復旧

誤って録画データをパソコン等で削除してしまった場合、フォーマットをしない限りそのカードを本機に再挿入するとデータの復旧が行えます。(復旧対象はメディア容量に依存します。復旧目安容量最大128GB相当まで)

駐車録画

※常時電源接続時に有効

エンジンOFF後に自動で駐車映像としてフレームレートを落とし記録します。

・ACC信号を検知し、自動で移行します。

※一部車両の仕様によってはエンジンOFFにしてもACC電源が切れるまで時間がかかる車両がございます。

※駐車録画中は、モニターのバックライトは消灯します。

モーション録画

駐車録画中、人や車など、動きや光を検知して記録します。その後、再び駐車録画に戻ります。

(周辺の環境や光により動作の差があります)

カメラ : フロントFullHD (1920x1080) / 対角145度
: リア FullHD (1920x1080) / 対角135度

記録Ch : AMEX-A07W 2CH (フロント+リア)
: AMEX-A07/A07TR 1CH

GPS アンテナ : 車速・日時・位置 各情報取得

記録メモリ : microSDカード16GB
16GB～256GB まで対応

LCD (液晶画面) : 3.5インチ タッチパネル (感圧式)

ボイスガイダンス : 動作に応じて音声流れます

データ保護 : 電源遮断時のデータ保護機能

ノイズ対策 : 地デジ・ナビ等への悪影響を低減

LED信号対策 : LED信号機の影響をフレームレートで抑制

2. 製品構成

AMEX-A07/A07W/A07TR

・AMEX-A07



本体
(W100x H61 x D33mm)



ブラケット



Micro SDカード
(16GB)



SDカードアダプター



GPSアンテナ
(1m)



常時電源ケーブル
(5m)



取扱説明書



ステッカー

・ AMEX-A07W (A07+リアカメラ&ケーブルセット)



リアカメラW60xH28xD29mm)



(9m)

・オプション



シガー電源ケーブル
(3m)



microSDカード
32/64/128/256GB



リアカメラ接続ケーブル
(20m)



外付けIR防水カメラ
(20m)

駐車録画用外部バッテリー



IR/赤外線車内向き
カメラ(1mケーブル含)



USB型Wi-Fiアダプタ



※構成品のイメージは実物と異なることがあります。

※SDカードはメーカー純正品を推奨します。

※外観および仕様は予告無く変更する場合があります。

3. 各部の名称

・前方カメラ／本体



- ① 前方カメラレンズ
- ② セキュリティーLED
- ③ タッチパネル
- ④ GPS LED
- ⑤ 録画 LED
- ⑥ DC-IN(電源連結端子)
- ⑦ リアカメラケーブル接続端子
- ⑧ GPS接続端子
- ⑨ microSDスロット
- ⑩ 電源ボタン
- ⑪ USB型Wi-Fi用ポート



・リアカメラ

- ⑫ 録画LED
- ⑬ カメラレンズ
- ⑭ ケーブル接続端子



4. 主な仕様

製品の仕様

センサー/走行時画素	CMOS 200万画素
撮影画角	対角145° (水平117°、垂直61°)
撮影画素	1920x1080 Full HD
液晶ディスプレイ	3.5インチTFT液晶/タッチパネル
音声記録	内蔵マイクありON/OFF可能
記録モード	常時/衝撃/駐車/モーション
フレームレート	デフォルト29.5fps(調整可能)
ファイル形式	独自形式(.JDR)→汎用フォーマット(.avi)で変換可能
Gセンサー	10段階切替
夜間映像補正	有り
LED式信号機対応	有り
GPSアンテナ	有り(外付けモジュール)
対応メモリー	microSDカード Class 10以上(16GB~256GB)
リアカメラ (AMEX-A07W付属)	CMOS200万画素1920 x 1080FullHD対角135° (水平105°、垂直61°)
フォーマットフリー	対応
専用ビューア	有り
データ復旧機能	有り
セキュリティLED	有り(ON/OFF可能)
駐車録画	有り(電圧低下遮断機能有り)
HDR	○
ナイトビジョン	○
安全運転支援機能	○
リアカメラ正・鏡像切替	○
本体操作ロック(セキュリティ)	○
外形寸法	W100 x H61 x D33(mm)

4. 主な仕様

AMEX-A07/A07W/A07TR

重量	約100g (ブラケット含む)
電源	電源直結配線+赤線 (常時電源) / +黄色 (ACC電源) / ー黒線 (車両アースポイント)
電圧	DC 12V/24V対応
消費電流	約330mA
暗電流	約5mA
使用温度範囲	-20°C~70°C

注) 本製品の一部仕様は、品質改善のため予告なしに変更されることがあります。

録画時間目安(1CH/2CH)

フレームレート	メモリ容量/カメラ数(1CH/2CH)									
	16GB		32GB		64GB		128GB		256GB	
	1CH	2CH	1CH	2CH	1CH	2CH	1CH	2CH	1CH	2CH
2fps	25:20	15:20	51:20	30:40	104:00	62:20	206:40	123:10	413:20	246:20
10fps	8:00	3:40	16:20	7:30	31:00	16:00	62:30	31:50	125:00	63:40
20fps	4:10	2:10	8:30	4:20	18:40	9:20	37:40	18:20	75:20	36:40
29.5fps	2:40	1:20	5:40	2:50	13:10	6:00	24:50	11:40	49:40	23:20

※上記実測データからの算出となり、状況によって録画時間が前後する場合がございます。

単位：時間

<録画時間に関する注意>

※映像内容により録画時間は変動します。

※フォーマットフリー機能の特性上、生成されるファイル毎の録画時間は一定ではありません。

※フォーマットフリー機能の特性上、映像状況 (内容) により録画時間が増えます。

(駐車中など、映像に移り変わりのない映像が続く場合は録画時間が増えます。)

4. 主な仕様

機能別 デフォルト設定

前方カメラ	明るさ	基本
	夜間補正	OFF
	フレームレート (fps)	29.5
時間	自動再起動	ON AM3:00
	タイムゾーン	GMT+9:00
サウンド	音量調節	基本
	ボイスガイダンス	ON
	音声録音	ON
イベント	録画時間	20秒
	駐車時 (fps)	10
	ブザー音	ON
	衝撃(録画機能)	ON
	モーション(録画機能)	OFF

動作検知	セキュリティーLED	OFF
	衝撃感度	5
LBP	Winter LBP	OFF
	電圧(V)	12/24V
メモリ	領域設定	統合記録
	上書き	ON
LCD	バックライト設定	30秒

※ 画面に操作がない場合、30秒後にバックライトを消灯させます。
詳細はP.33をご確認ください。



HDR機能の特徴

夜間走行時などの低照度やトンネルの明暗差がある状況で鮮明な録画品質を示します。

本体の動作状況

GPS(青)LED	<ul style="list-style-type: none"> - GPS受信状態になるとLED点灯/GPS測位中は点滅します。 - GPSアンテナ未接続時はLEDは消灯します。
REC(赤)LED	<ul style="list-style-type: none"> - 電源ON/常時録画中は赤LEDが点灯します。 - イベント発生時は点滅します。
セキュリティLED ※機能ON時 (レンズ下/白LED)	<ul style="list-style-type: none"> - 走行中の録画(常時)モードは消灯/駐車モードは点滅します。 - モーション検知時は高速点滅します。
タッチパネル	<ul style="list-style-type: none"> - 電源ON後にオープニング画面が始まりメイン画面に切替わります。 ※ 初期値は約30秒でバックライトOFFになります。 - バックライトOFFの状態タッチするとメイン画面が表示されます。
リアカメラ(白)通電LED	<ul style="list-style-type: none"> - 常時録画、駐車録画に関わらず録画中は常時点灯します。 - 本機録画中はリアカメラも連動し録画を行います。 - 電源取得ができていないなど異常時には、LEDは消灯、又は点滅になります。

録画モード

常時録画	<ul style="list-style-type: none"> - エンジンONに伴いACC電源が入りますと常時録画を開始します。 - 常時録画ではセキュリティLEDは点灯しません。
衝撃（イベント）	<ul style="list-style-type: none"> - 衝撃を検知するとブザー音が流れ録画LEDが点滅しながら、衝撃時の前後映像を衝撃録画として記録します。 - 衝撃録画が終わったら自動的に常時録画に戻ります。
駐車（イベント）	<p>① 常時電源（赤線）/ACC（黄線）にて稼働している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> - エンジンOFFに伴いACC電源が切れますと駐車モードに変わります。 - セキュリティLED機能ON時は1秒間に1回の点滅を開始します。 <p>② ACCに（赤線 & 黄線）を接続して稼働している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> - エンジンOFF時は駐車中の録画は行われません。
モーション（イベント）	<ul style="list-style-type: none"> - 駐車モード時に、映像の変化を検知するとモーション録画モードが動作します。 (周辺の環境、または光により動作の差が生じることがあります) - セキュリティLEDは高速点滅します。 - モーション録画が終わると、再び駐車モードに戻ります。 - 車両側フロントガラスの角度によりセキュリティLEDの発光がガラスに反射しモーション（イベント）として記録する事がございます。

※ 全ての録画データは、時系列に沿って、古いデータから上書きする仕様となっております。有事など重要なデータは上書きされないように製品の電源を遮断する或いはSDカードを取り出し保管してください。

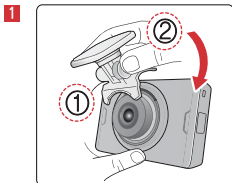
※ 本機を車両バッテリー常時電源より接続した場合、駐車録画機能が強制的に“有効”となります。駐車録画機能をご不要な場合は、ACC（アクセサリー）電源で接続を行ってください。

4. 主な仕様

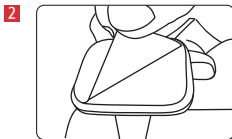
音声ガイドンス

内容	音声ガイドンス
録画開始	録画を開始します。
電源OFF	システムを終了します。
録画領域不足	録画領域がありません。上書きの設定を確認してください。
GPS受信	GPSが接続されました。
非正常録画	映像が入力されていません。
駐車録画から常時録画に転換	運行モードで録画を開始します。安全運転をお願いします。
microSDカードフォーマット	SDカードをフォーマットしています。暫くお待ちください。
microSDカード未装着	SDカードが見つかりません。
microSDカード不良	SDカードが損傷している為、録画することができません。
microSDカードシステム復旧	SDカードが損傷されているため再起動します。再起動が続く場合はSDカードを交換してください。
ファームウェア正常アップデート	プログラムのインストール中です。電源を切らないでください。
ファームウェアアップデート失敗	プログラムファイルが損傷されているため、インストールできません。
LBP電源OFF	バッテリーを保護するためにシステムをシャットダウンします。
Wi-Fi登録開始	登録スタンバイモードです。
登録機能の解除	登録スタンバイモードが解除されました。
スマホと接続	ユーザーが接続しています。
接続を解除	ユーザーの接続が解除されました。

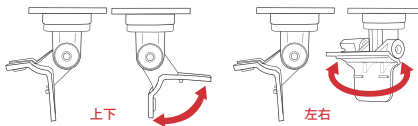
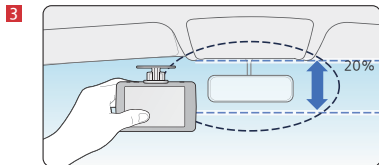
本体の設置(前方カメラ)



次の順に本体とブラケットを組付けます。
 ① カメラ上部の溝にブラケットの爪をかけます。
 ② ブラケットの爪が本体上部溝に、はまるまで押し込みます。



ブラケットに付いている両面テープの剥離紙を取りガラス面に取り付けます。



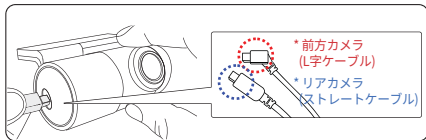
車両の前面ガラスに付着位置を選定して付着し、本体のカメラが正面方向を向くようにブラケットを撮影角度に合わせて前後左右に調整し、最後につまみを絞り、しっかり固定します。

- 本機は防水になっていませんので、車内に取り付けてください。
- 取り付ける際は本機が落下ないようにフロントガラス面の油分や汚れを除去し、付属の両面テープを確実に取り付けてください。
- 界面活性剤が含まれているガラスクリーナーは使用しないでください、テープ剥がれの原因になります。
- 他の無線機やテレビ、ラジオなどからはなるべく遠ざけ設置してください。



※他のアンテナ類と被らないよう設置してください。

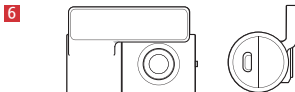
5 リアカメラの設置(AMEX-A07W)



リアカメラを設置する際はブラケットに付いている両面テープで運転の支障が出ないガラス面に取り付けてください。

※カメラは防水になっていませんので、車内に取り付けてください。

※プライバシーガラスは、その上から添付して問題ございません。

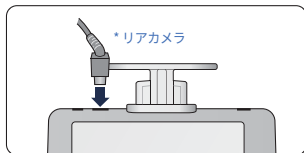


リアカメラと専用ケーブルの差込口は、簡単に抜けないよう堅めになっています。ピンジャックを奥までしっかりと差し込んでください。

※差し込みが甘いとリア映像は録画されません。

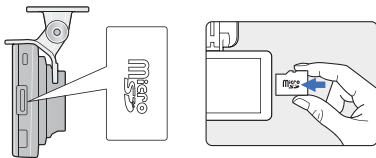
※LED点灯 - 接続OK

※LED消灯 (点滅) - 接続ミス、接続を確認してください。



本機と後方カメラを専用ケーブルで接続します。運転の支障が出ないように配線を処理してください。また余分なコード類はビニールテープ等でしっかり束ねてください。

7 SDカードの挿入



- SDカードは挿入方向に注意して差し込み、必ず“カチツ”と音が出るまで押し込んでください。
- SDカードには下図のように向きがありますので注意してください。

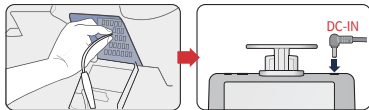


! Micro SDカード使用時の注意事項

- SDカードの挿入／取出し時は必ず本機の電源を切ってから行ってください。メモリが損傷する事があります。
- 純正SDカードをご利用下さい。
純正SDカードのお買い求めについては、販売店までお問い合わせください
- 社外SDカードは相性の問題で使用できない可能性があります、相性による製品の動作保証はございませんので予めご了承ください。
- 推奨microSDカード (純正SDカード)
容量:16GB/32GB/64GB/128GB/256GB
スピードクラス:Class10以上

5. 設置方法

8 電源ケーブルの設置



- 電源ケーブルは車室内のヒューズボックスより取得してください。
 + 赤色ケーブル＝常時電源に接続
 + 黄色ケーブル＝ACC電源に接続
 - 黒色ケーブル＝車両のアースポイントに接続

常時電源とはエンジンON/OFFに関係なく常に電源供給されているヒューズ(線)の事です。

アースポイントとは車両GND(金属面)または、接している金属面の事です。

なおACC(アクセサリ)電源(エンジンON時のみ電源供給)に+赤色&黄色ケーブルを接続した場合、本機はエンジン始動時のみ電源ONとなります。*駐車録画はしません。

- 電源ケーブルと車両側の接続が確実に完了しましたら、本機上部にあるDC-IN(電源連結端子)に電源ケーブルを差し込んでください。
 この状態で自動電源ONとなりオープニング画面よりメイン画面に移行して録画スタートいたします。
 *データが入ってないSDカードは1分程度の自動フォーマットが行われます。(新品のSDカード使用時)

自動車のヒューズボックス位置はメーカー車種毎に異なり、自動車の取扱説明書を参照して頂くか、専門業者に設置をご依頼する事をお勧めします。

設置する際に発生した製品・車輛の損傷について弊社は一切の責任を負いません。

! 設置時の注意事項

- 本機を車両の外部に設置しないでください。
- 車両運転時にの妨げになる位置への設置は事故の原因になる恐れがあるので、ご注意ください。
- ※ 電源ケーブルとTVアンテナケーブルは結束して引き回さないでください。
- ※ 取付方法によってはドライブレコーダーとの干渉により地デジの受信感度が低下する場合があります。
- ※ ナビゲーション(オーディオ)等からではなく、ヒューズボックス内の常時電源またはACC(アクセサリ)電源より取得してください。
- ※ 配線の変更/車両載せ替えを行った場合は、必ず工場出荷時の設定「初期化」に戻して下さい。
- ※ 取得する電源の電圧確認をしてください。
 12V車＝12V以上 24V車＝24V以上

6. 操作方法 | メイン画面

データが入っていないSDカード（新品のSDカード）を挿入し、起動した場合は自動でSDカードのフォーマットを実行します。フォーマット作業には約1分かかりますが容量により時間は変動します。フォーマットが完了するまで電源を切らないようにして下さい。

起動後、“録画を開始します”との音声ガイダンスが出ながら次のような画面がLCDに出力されます。

メイン画面ではカメラの映像をリアルタイムで見たり、事故など必要な時に録画ファイルを再生することができます。

また、録画環境を変更することができます。

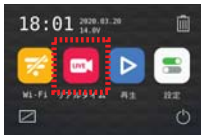
※設定時間内に画面操作がないとLCD画面が自動で消灯します。※デフォルトは30秒

※駐車モードになるとLCDは自動で消灯します。



※ LCDとは液晶画面を指します。

① Wi-Fi (オプション機能)	Wi-Fiボタンをタッチするとスマートフォン登録モードになります。2分以内に接続がされないと、自動解除されます。
② リアルタイム	タッチすると現在運行中のカメラ映像が表示されます。
③ 再生	録画映像を再生します。
④ 設定	各種設定条件を変更できます。
⑤ 画面をオフ	タッチすると、液晶画面が消えます。消えた後、再度タッチすると画面が表示されます。
⑥ 電源を切る	システムをシャットダウンします。(電源OFF)
⑦ 時計	日付/時刻が表示されます。
⑧ 電圧	車輻からの入力電圧をリアルタイムで表示します。
⑨ フォーマット	アイコンをクリックすると、確認ポップアップウィンドウが立ち上がり、SDカードのフォーマットが行われます。 ※メモリ内の映像データは削除されるのでご注意ください。



<前方>

- 1** メイン画面で“リアルタイム”ボタンをタッチすると画面には前方のカメラ映像が表示されます。



<後方>



<前・後方>


- 2** 再度画面をタッチすると後方映像に切替わります。さらにタッチすると、2画面でワイド表示になります。画面タッチする度に表示方法が変わります。
「フロント→リア→PIPフロント大/リア小→PIPフロント小/リア大」

※ バックライト設定「常にオン (リアルタイム)」時は本機能で選択した画面が保持されます

PIP=ピクチャーインピクチャーの略称になります。

例：PIPフロント大/リア小=フロント映像が大画面表示され小窓にリア映像が表示されます。



- 3** リアルタイム映像の右上の  ボタンは5秒間タッチがなければ消えます。画面をタッチすると、再度表示され、これをタッチするとメイン画面に戻ります。

再生ボタンをタッチすると録画した映像を再生できます。 ※注意 ファイル再生中は録画されません。



- 1 メイン画面で再生ボタンをタッチすると撮影したファイルが表示されます。
- 2 上段にあるタブ（常時／イベント）を選択すると録画ファイル別で表示されます。
常時タブをタッチすると常時リストのみ、イベントタブをタッチするとイベントリストのみが表示されます。
- 3 再生したい時間をタッチすると、再生されます。
- 4 左右矢印を使ってページを移動できます。
- 5 再生したいファイルをタッチすると、左図のように映像が再生されます。
(各ボタンはタッチ入力がないとき、5秒後に消え、再びタッチすると再度表示されます)
- 6 ホームボタン、または戻るボタンを押すとメイン画面に戻ります。

- 1 再生と一時停止ボタンです。
- 2 前・後方映像を選択して再生します。
タッチすると切り替わります。
(後方映像が接続されていない、又は接続ミス時には青画面表示となります)
- 3 映像の再生位置を示し、見たい位置にタッチすると
該当位置から映像を再生します。
- 4 タッチすると再生リストに戻ります。

6. 操作方法 | メイン画面 - 再生

※ 画面拡大機能


録画映像の再生時、特定部分を詳しく確認したい場合、当該部分を拡大して表示します。



- 1 ボタン表示部分以外をタッチし操作ボタンを消します。



- 2 拡大したい部分を長くタッチすると該当部分が拡大されます。
- 3 再度長くタッチすると、元に戻ります。

- ! 変更された設定値の保存は、 アイコンを押し、メイン画面に戻った時のみに反映されます。
設定する機能によっては保存後にシステムの再起動が行われます。



使用者は任意に各種設定条件を変更できます。
メイン画面で“設定”ボタンをタッチすると設定画面が表示されます。

設定画面のカメラボタンをタッチすると、前・後 カメラの明るさ、
フレームレート等を設定することができます。

[前方カメラ]

- 明るさの調整・・・基本→明るく→暗く
- ナイトビジョン・・・OFF→ON
- フレームレート・・・29.5→2→10→20 (fps)

[後方カメラ]

- 明るさの調整・・・基本→明るく→暗く
- 左右反転・・・OFF (正像) →ON (鏡像)
- フレームレート・・・29.5→2→10→20 (fps)



電圧管理

システム内の“LBP”ボタンをタッチすると、LBP機能を設定できます。LBP機能は車輛のバッテリーを保護するための機能です。設定値以下の電圧が5分以上続くと本機を自動的にシャットダウンします。ここでは、LBP機能の電圧値を任意に設定できます。

区分	設定可能電圧 (V)		
Power Off	11.8/23.8	12/24	12.3/24.3

※ LBP機能により電源遮断後、エンジン再始動時に連動して本体を起動させるため、微量な暗電流が流れます。
長期間(3日以上)運転されない場合は、本体上部の電源コードを抜くか、予め接続元をACC (アクセサリ) より取得してください。

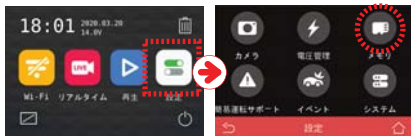
※ WinterLBP機能はバッテリーの性能が低下する11月～3月期間中はPowerOffの動作が「12.3V/24.3V」で動きます。

タイマー機能

駐車録画時はタイマー機能があり最大12時間まで撮影可能です。設定時間内であってもLBP機能で設定値よりも、電圧が下回ると本機は自動的に録画停止し電源OFFになります。

※タイマー時間を過ぎますと車両のバッテリー保護の為に録画停止になり自動で電源OFFとなります。

・タイマー・・・3時間→6時間→12時間→1時間



メモリ設定

システム内の“メモリ”ボタンをタッチすると、領域設定、上書き、フォーマットを設定できます。

- 領域設定・・・統合記録（推奨）→フォルダ分け
- 上書き・・・ON→OFF
- フォーマット・・・手動フォーマットを行います。

統合記録とは、1つのフォルダ内に常時とイベントデータを保存します。領域設定の比率は50：50までフォルダ分けが可能です。

※ファイルシステム上、統合記録を推奨しておりますが容易にイベントデータの集約や抽出が可能な仕組みとなっております。

※領域設定の比率を変更するとファイルシステム再構築の為にSDカードがフォーマットされます（データ削除）。事前にバックアップを行ってください。

※本機にて個別データの保護や削除はできません。

※フォーマット作業後にLBPが働きます。本機の特性として入力電圧が低い場合、フォーマット作業後にLBP機能（バッテリー保護）が働き電源OFFになります。その際は手動で電源ONにして下さい。



		メモリ比率			
イベント	統合	20%	30%	40%	50%
常時		80%	70%	60%	50%



[メモリ情報]

- ・メモリ容量・・・使用しているSDカードの容量を表示します。
- ・リサイクル回数・メモリがフルになると1回とカウントする。
- ・使用開始日・・・SDカードの使用開始日



[先行車発進アラーム]

[前方車発進警報]

停車時に前車が発進したことを画面表示とアラーム音でお知らせしてくれます。



自車が停止状態

前車が発進



※ご注意

本機能はGPSを受信した状態でのみ動作します。/本機能は事故を未然に防ぐ物ではありません。

本機能は、普通乗用車のフロントガラス中央部への設置を基準として設計されております。トラックなどでのご使用の際は、機能が著しく劣る場合があります。

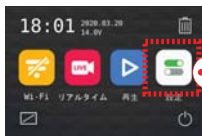
本機能は単眼レンズにて得られる映像情報（映像データの差異より判断）で動作するため、車両実装の安全運転支援機能とは仕様、動作条件が異なります。

また、映像からの画像処理になるので夜間では昼間より著しく反応が悪くなる場合があります。

周囲の状況、天候、先行車の形状や色、本体の取付位置や角度、フロントガラスの汚れなどによっては、正しく動作しない場合があります。

取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部から外れますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。

本機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。

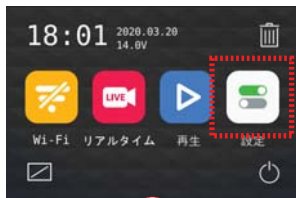


[イベント]

設定画面の“イベント”ボタンをタッチすると、録画時間(衝撃検知後の録画時間)、駐車、ブザー音、衝撃、モーションを設定できます。

- イベント設定
 - 録画時間・・・2秒～30秒※デフォルトは20秒
 - ブザー音・・・・ON→OFF
- 駐車設定
 - 駐車時 (fps)・・・10→2→20→29.5 (fps)
 - モーション・・・・OFF→ON
- 衝撃設定
 - 衝撃・・・・・・・・ON→OFF
 - 感度・・・・・・・・1～10 ※デフォルトは5





[システム]

設定画面の"システム"ボタンをタッチすると、動作検知、LCD、時間、サウンド、パスワード、バージョン各機能の画面へ進みます。

※詳細は次ページへ

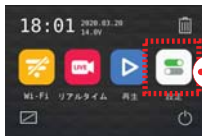


[セキュリティーLED]

駐車時に本体レンズ下部のLEDが点滅します。

※撮影映像の変化を検知すると高速点滅を行います。

セキュリティーLED・・・OFF→ON



[LCD]

システム内の“LCD”ボタンをタッチすると、バックライト設定、タッチ補正を設定できます。

バックライトの自動オフ時間を設定できます。

*バックライト設定：30秒→1分→2分→5分→常にオン
(時刻表示) → 常にオン (リアルタイム)

※設定時間内に画面操作がないとLCD画面が自動的にOFFになります。

※常にオン (時計/リアルタイム)：該当機能設定時、システムは再起動から1分後に任意に設定した画面に移行されます。

※設定値「常にオン (リアルタイム)」の映像が任意で選択できます。表示選択はメイン画面内「リアルタイム」にて選択した画面が保持 (適応) されます。

フロント→リア→PIPフロント大/リア小→PIPフロント小/リア大



* タッチ補正：

LCDタッチパネルの反応にズレが発生した場合にはタッチ補正にて調整を行ってください。画面の順序に従ってタッチし補正します。

[電源スイッチからのタッチ補正]

反応ズレにより設定からタッチ補正まで移行出来ない時に側面の電源スイッチよりタッチ補正画面に移行します。

・電源ボタン1回/1秒間隔で2回押す

※ボタンを放したタイミングで効果音が鳴きます



[時間]

設定画面の“時間”ボタンをタッチすると、日付/時間、自動再起動、タイムゾーンを設定できます。

日付/時間・・・時刻はGPSで自動更新されます。
(数値は多少の誤差が生じる場合があります。)

自動再起動・・・システム動作を安定的に運用するため
推奨する機能です。※デフォルトはAM3:00

タイムゾーン・・・通常は変更しないでください。



[サウンド]

設定画面の“サウンド”ボタンをタッチすると、音量調節、ボイスガイダンス、音声録音を設定できます。

- 音量調節・・・・・・・・基本→大→小
- ボイスガイダンス・・ON→OFF
- 音声録音・・・・・・・・ON→OFF



[パスワード設定]
システム内の"パスワード"ボタンをタッチすると、パスワードを設定できます。

パスワード使用・・・・・・・・ON→OFF
パスワード設定と変更
パスワードを削除

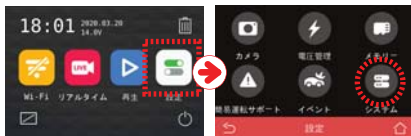


※パスワードを設定する事により画面タッチ操作をロックする事が出来ます。

※パスワードを忘れた場合は解除出来なくなりますので、ご注意ください。



※パスワードを忘れた場合は解除出来なくなりますので、ご注意ください。



[バージョン]
システム内の"バージョン"ボタンをタッチすると、バージョンを確認できます。また、Logをタッチすると本体の動作状態を記録した内容を確認できます。



スマートフォンとWi-Fi接続することでリアルタイム映像の確認、保存データの再生及びダウンロード、各種設定変更が可能になります。

スマートフォン接続方法(android)

GooglePlayからアプリ名“AMEX-A07”と検索のうえアプリをスマートフォンにダウンロードしてください。

- 1 ダウンロードしたアプリをインストールさせます。
インストール完了後、下部にある“開く”をタッチしますとアプリが開きます。
- 2 アプリの初期設定で電話の発信と管理/機器内の写真、ファイルへのアクセス/位置情報のアクセスの許可を聞かれますので“許可”を選んでください。
※“許可しない”を1つでも選んでしまいますと、Wi-Fi接続はできません。

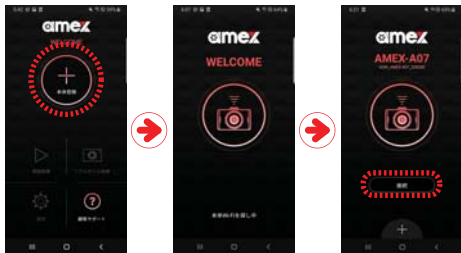
本機のWi-Fiボタンをタッチすると“登録スタンバイモード”になります。
- 3 ※スマートフォン側のWi-Fi・GPS機能をONにした状態でスマートフォン側のアプリアイコンクリックします。



7. 操作方法 | スマートフォン連動 (※オプション)

3 アプリ中央に配置の本体登録ボタンをタッチします。

検索結果より選択し、本体接続ボタンをタッチします。



4 登録が完了すると、スマートフォンと連動が可能です。



[録画映像]

- 録画映像を閲覧／再生／ダウンロードできます。

[リアルタイム映像]

- カメラのリアルタイム映像が閲覧出来ます。

[設定]

- 各設定値が変更出来ます。

[顧客サポート]

- 接続方法のアドバイスが記載しています。



7. 操作方法 | スマートフォン連動（※オプション）

※申し訳ございません

※開発中のために別途HPにてご案内させていただきます。(2020年11月頃)

7. 操作方法 | スマートフォン連動（※オプション）

※申し訳ございません

※開発中のために別途HPにてご案内させていただきます。(2020年11月頃)

8. メモリカードのフォルダー内容



- 1 本機の電源が消えたことを確認してからmicroSDカードを外します。
- 2 外したmicroSDカードをアダプタに装着した後、パソコンに差し込みます
- 3 Windowsのリムーバブルディスクに左図のように表示されます。
イベントフォルダーは環境設定にて領域設定20%以上設定されていると、イベントフォルダーが生成されます。領域設定を変更していない場合、イベントデータはdataフォルダーに格納されます。

! 注意事項

メモリカードにあるファイルを削除したりフォーマットしないでください。
重要な映像は専用ビューアを用いてパソコンにバックアップしてください。

フォルダー名	内訳
① Config(システム管理フォルダー)	- Log.txt : 本体の動作状態をログファイルとして記録します。 - Version.ini : 本体のバージョン情報を表示します。
② Data(録画フォルダー)	- あらかじめ記録用ファイルが生成されており、メモリカードの容量によりファイル数が異なります。
③ Update(アップデートフォルダー)	- ファームウェアアップデートデータをこのフォルダーに入れ本体に戻すと、自動的にアップデートされます。
④ AMEX-A07 PCViewer	- 専用ビューアソフトです、パソコンにインストールしてください。(ビューアソフトは本機より自動生成されます。)

専用ビューア推奨PCの動作環境

CPU	: Dual 2.0G以上
OS	: Win7/8/10以上
メモリ	: 2GB以上
HDD	: 4GB以上
GPU	: DirectX9.0以上に対応するGPU
モニター	: 1200×800 (解像度) 以上

※ご使用のパソコン環境によっては、音声途切れたり、映像再生がスムーズにいかなかったりする場合がございます。

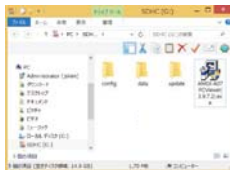
旧モデル (AMEX-A05) の専用ビューアでも本機で録画した映像の再生が可能です。

専用ビューアは本機にて録画を行った際に、microSDカード内に生成されます。下記にならない、パソコンへインストールを行ってください。

- 1 はじめに、本機にmicroSDを挿入して電源を入れてください。
- 2 microSD内にファイルシステムと専用ビューアが作成されます。作業が完了するまで電源を切らないでください。microSDの容量により作成に要する時間が異なります。
- 3 正常に完了すると、メイン画面が表示され録画を開始しますと音声ガイダンスが流れます。

- 4 本体の電源をOFFしてから、microSDカードを抜いてください。

- 5 パソコンに取り込み“AMEX-A07 PCViewer”をダブルクリックします

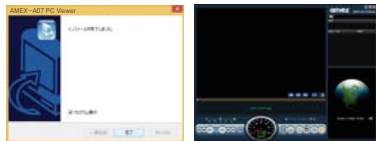


6



インストール画面が表示されます。
ここで“次へ”をクリックします。

8



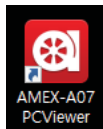
“完了”をクリックすると、専用ビューアが自動で開きます。

7



標準インストールを選択し“次へ”を
クリックすると、インストールを開始します。

9



デスクトップに専用ビューアのショートカット

※専用ビューアには映像データに入っている位置情報からGoogleMapに反映するため位置情報を外部に送信します。
その機能（プログラム）にセキュリティソフトが反応する場合があります。
専用ビューアがセキュリティソフトによりインストール出来ない場合はセキュリティレベルを下げて頂くか、検査対象から除外等の設定を行ってください。

10. 専用ビューアの説明 | ビューア項目別名称

AMEX-A07/A07W/A07TR

お使いの本機バージョン（FW）／PCビューアはPCビューア起動時にアナウンスされますので、必ず更新を行ってください。

※インターネット接続時のみ最新バージョンの確認を行っております。

SDカードをパソコンに挿入したのち専用ビューアを開いてください。



1 イベント検索

2 再生リスト

3 マップ画面(インターネット接続時使用可能)

4 画面表示
(一画面/二画面/リア映像左右反転/モノクロ)









5 シークバー

6 Gセンサーグラフ
X: 前後の動き / Y: 左右の動き /
Z: 上下の動き

7 再生速度調節







8 音量調節

9 再生メニュー

		逆再生/再生
		一時停止
		リピート
		次のイベント
		1フレーム再生

10 速度計

11 設定メニュー

	コマ送り表示
	レーン(補助線)を引く
	印刷
	バックアップ
	設定
	開く

※リア映像反転機能は映像再生時のみに有効です。

※映像下部のテキスト情報も反転します。

1 画面拡大



映像をダブルクリックするか、
最大化ボタンにて画面を拡大する事ができます。

元のサイズに戻す方法は“ESC”又は“元の表示に戻る”
ボタンをクリックすると、戻ります。



2 ズーム



画面内の該当箇所を右クリックするとズーム表示されます。



3 リピート



データ内の特定箇所をリピート再生できます。

リピートボタンを選択
シークを移動し開始時刻と終了時刻を設定し、
リピート再生することができます。

4 コマ送り表示



“コマ送り表示”ボタンを選択
映像をコマ送り表示することができます。

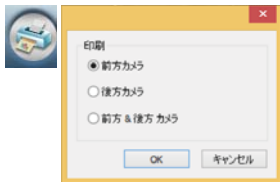
※ フレームレートに依存し抽出単位は可変します。

5 レーン (補助線)



“レーン (補助線) を引く”ボタンを選択
運転特性の確認のため任意でレーン (補助線)
を引くことができます。

6 印刷



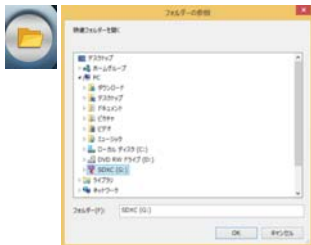
“印刷”ボタンを選択

ボタンをクリックした時点の停止映像と現在位置のマップを表示し、印刷することができます。

前方/後方/前方&後方カメラ映像を選択できます。

地図上の移動経路は選択データの前2データまでが表示されます。

7 開く



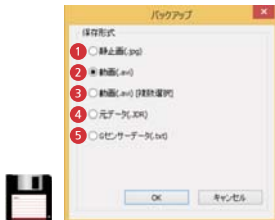
“開く”ボタンを選択

パソコンのフォルダーを表示します。

録画したフォルダーを選択して映像ファイルの再生ができます。

8 バックアップ

映像データを静止画・動画等、各型式で保存できます。



※ 例：②動画(.avi)ファイル選択画面

- ① 静止画(.jpg):再生中の映像ファイルをキャプチャーし静止画ファイルとして保存できます。
- ② 動画(.avi):再生ファイルを動画ファイルとして保存できます。
※3つの映像データを結合して1データとして保存できます。
(例)前ファイル+選択ファイル+後ファイル=データ(.avi)
- ③ 動画(.avi) [複数選択]:複数のファイルを一括で動画ファイルとして保存できます
※1つ前の映像データを結合することはできません。
- ④ 元データ(.JDR):映像データをそのまま保存できます。
※専用ビューアのみで再生可能
- ⑤ Gセンサーデータ(.txt):Gセンサーの数値をテキストファイルとして保存できます。

保存形式を選び"OK"を押しますと、左図のように各種情報・保存先等の設定画面が開きます。

音声も一緒に保存したい時は、オーディオ欄にチェックを入れてください。

※選択映像の1つ前と1つ後にチェックを入れると3つのデータを統合し1データとしてバックアップ可能です。
※フレームレートが異なる映像同士は結合できません。

"次へ"を押しますとバックアップされます。



システム



- 1 前方カメラ
前方カメラ映像のフレームレート、明るさ、ナイトビジョンの設定ができます。
- 2 後方カメラ
後方カメラ映像のフレームレート、明るさ、左右反転の設定ができます。
- 3 電源管理(LBP)
車両バッテリー上がりを防止するための機能です。
設定値以下の電圧が5分以上続くと本機を自動的にシャットダウンします。
Winter LBPを設定するとバッテリーの性能が低下する11月3月期間中は
PowerOffの動作が12.3V/24.3Vで動きます。
- 4 タイマー設定
駐車モード時に設定した時間になるとドラレコの電源を遮断します。

10. 専用ビューアの説明 | ビューア項目別名称

メモリ



- 1 **領域設定**
イベントと常時領域の割合を変更できます。初期値(統合記録※推奨)は全ての録画データをdataフォルダーに集約します。
- 2 **上書き**
SDメモリがフルメモリに達した際に古い映像から上書きするかを設定します。
- 3 **メモリ情報**
使用中のSDカードの容量を示します。
- 4 **フォーマット**
microSDカードのフォーマットを手動で行います。
- 5 **修復**
誤って録画データを削除してしまった場合、フォーマットしない限りデータの修復が可能です。

! **注意事項**

領域設定の比率を変更するとファイルシステム再構築のためSDカードがフォーマットされます(データ削除)。

簡易運転サポ-



- ① [前方車発進警報]
 停車時に前車が発進したことを画面表示とアラーム音でお知らせ
 してくれます。



※ご注意

本機能はGPSを受信した状態でのみ動作します。/本機能は事故を未然に防ぐ物ではありません。本機能は、普通乗用車のフロントガラス中央部への設置を基準として設計されております。トラックなどのご使用の際は、機能が著しく劣る場合があります。本機能は単眼レンズにて得られる映像情報（映像データの差異より判断）で動作するため、車両実装の安全運転支援機能とは仕様、動作条件が異なります。また、映像からの画像処理になるので夜間では昼間より著しく反応が悪くなる場合があります。周囲の状況、天候、先行車の形状や色、本体の取付位置や角度、フロントガラスの汚れなどによっては、正しく動作しない場合があります。取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部から外れますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。本機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。

イベント



- 1 **録画時間**
イベント発生後の録画時間調整ができます。
- 2 **ブザー音**
イベント検知時にブザー音を鳴らすかを設定します。
- 3 **駐車**
駐車モード時に録画されるフレームレートを設定できます。
- 4 **衝撃設定**
常時モードと駐車モード中、衝撃を検知した場合の録画設定ができます。
- 5 **モーション設定**
駐車モード中、モーションを検知した場合の録画設定ができます。
- 6 **感度設定**
走行時及び駐車時に衝撃感度の調整ができます。

システム



- 1 **セキュリティLED**
セキュリティLEDの点滅、点滅のON/OFFができます。
この機能は駐車モードのみ作動します。
- 2 **バックライト設定**
バックライトの自動OFF時間を設定できます。設定した時間内にタッチがなければ自動でバックライトが消えます。
- 3 **自動再起動設定**
自動再起動ON/OFFと実行時間の設定ができます。
- 4 **タイムゾーン**
GMT標準時間を設定します。(通常は変更しないでください)
- 5 **音声録音**
画像と一緒に音声録音するかを設定します。
- 6 **車両情報**
使用する車の情報、運転者情報、車両番号を入力できます。

バージョン



- 1 **F/W VER**
本体のファームウェアバージョンを表示します。
- 2 **Viewer**
専用ビューアのバージョンを表示します。
- 3 **最新バージョン**
最新のバージョンを表示します。
(インターネット接続時のみ有効)

12. 故障かなと思ったら

製品が正しく動作しない場合は下記事例を参照の上、設置・使用方法を確認してください。

また、内部システムの機能向上やシステム改修を行っております。

最新情報(ファームウェアなど)はメーカーHPにてご確認ください

- 電源が入らない(電源ランプが点灯しない)
 - 電源ケーブルが車両側に確実に接続されているか、確認してください。
赤色ケーブル+を車両の常時電源、黄色ケーブル+はACC電源に接続してください／黒色ケーブル-は車両のアースポイント(GND)に接続してください。
 - 本機の電源端子に電源ケーブルが奥まで差し込まれているか確認してください。
 - 電源ケーブルのヒューズは切れていないか確認してください。
 - 手で電源を切った時は“電源ボタン”ボタンを長押ししてください。
- 駐車中電源がOFFになる
 - LBP機能(バッテリー保護)が作動している
 - *常時電源より取得されている場合
バッテリー上がりを防止する機能になります。
 - ※車両特性に合わせて設定値を調整してください。(メイン画面又は時計表示画面にて車両からの電圧値がモニタリング出来ます。)
 - ※長期間(3日以上)運転されない場合は、本体上部の電源ケーブルを抜いてください。
 - ※LBP機能(バッテリー保護)により本体の電源がOFFになった後も、エンジン再始動時に連動して本体を起動させるために微量な暗電流が流れます。
- GPSが認識されない(青LEDが消える)
 - GPS接続端子は奥まで挿入してますか。再接続を行ってください。
トンネルや立体駐車場ではGPS信号が受信できない為に点滅になります。

12. 故障かなと思ったら

- 画面がすぐに黒くなる
 - LCD(バックライト)は設定時間になると自動OFFになります(デフォルトは30秒)。任意で設定してください。駐車モードではバックライトは自動OFFになります。
- 起動に時間がかかる
 - microSDカードのデータ容量によって時間が長くなります。
 - カードのシステムチェック・フォーマット等の処理中です。
 - 各動作(機能)により起動時間が異なりますが異常ではありません。
 - *駐車監視から常時録画に切り替わる時
LBP機能(バッテリー保護)によりシャットダウンしてからエンジン再始動に連動して本機を起動する時
 - *ACC(アクセサリ)電源より取得されている場合
エンジン始動により連動して本機を起動する時
- 録画ができない
 - 映像再生中は録画が停止します。メイン画面に戻してください。
 - SDカードの損傷・寿命の恐れがありますので新しいカードに交換してください。
 - LBP機能(バッテリー保護)が作動している時は録画が停止になります。
 - ACC(アクセサリ)電源より取得している車両では駐車時の録画機能は動きません。
- 頻繁に衝撃(イベント)録画される／録画されない
 - 動作検知の感度設定を調節してください。
- 本体が熱を帯びる
 - 本機は作動中に熱を発生しますが異常ではありません。※異臭や煙が発生したり異常な熱を感じた場合は直ちに使用を中止してく

12. 故障かなと思ったら

- 常時録画の記録映像で録画時間幅にバラツキがある
 - 独自フォーマットを採用している為、個々の記録データ幅にバラツキが発生しますが、異常ではありません。
- 地デジTVが見られない
 - 電源ケーブルと地デジアンテナケーブルを放してください。
 - 電源ケーブルとTVアンテナケーブルは結束して引き回さないでください。
 - 取付方法によってはドライブレコーダーとの干渉により地デジの受信感度が低下する場合があります。
 - ナビゲーション(オーディオ)等からではなく、ヒューズボックス内の常時電源またはACC電源より取得してください。
- 信号機の色が点滅する
 - LED信号機は仕様上点滅して撮影される場合があります。周辺車両の動きや前後の映像から判断してください。
- 映像にノイズが入る
 - 一部強い電波ノイズが発生する施設/機械の近くでは影響を受ける事が御座いますが異常ではありません。

12. 故障かなと思ったら

● ログメッセージ内容

LOG Message	説明
F/W FILE ERROR	アップデート用FWファイルが損傷しているため、実行できない場合
[F/W] MODEL NUMBER WRONG!!	対応していないアップデート用FWファイルの場合
F/W UPDATE GOING	アップデート進行中です(アップデートが成功するとこのログが消えます)
F/W UPDATE:[ファイル名]	アップデートされたファイル名です(FWアップデートが正常的に完了するとすべてのログメッセージが消えます。このメッセージがすべてのログの始まりです)
RECORD RESTORE	録画した映像が復旧した場合
MBR_RESTORE	ファイルシステム(FAT32)のMBR領域が復旧されたとき
PBR_RESTORE	ファイルシステム(FAT32)のPBR領域が復旧されたとき
DEVICE FORMAT	SDをフォーマットしたとき
SD REMOVE	録画中、強制的にSDカードを取り出した場合
SD CARD INVALID	SDカードが損傷している場合(接触、接点不良を含む)
SD CARD WRITE PROTECTED	SDカードが上書き禁止設定とされている場合
SD INSERT	電源ON中にSDカードが挿入された場合
SD CARD DETECT	本機がSDカードの正常/装着を認識した記録
SD CARD PROBLEM	一時的なカードエラーの疑い。フォーマットしても改善しない場合はSDカードを交換してください。
FILESYSTEM ERROR	SDカードのファイルシステムが損傷された場合
NORMAL FOLDER FULL	上書きオプションを解除した状態でNormal Dataフォルダーがフルになった場合
EVENT FOLDER FULL	上書きオプションを解除した状態でEvent Dataフォルダーがフルになった場合
DISK FULL	上書きオプションを解除した状態ですべてのDataフォルダーがフルになった場合

REAR CAM INVALID...1	後方カメラの接続信号が入っているが、映像が入ってこない場合（後方カメラ損傷の疑い）
VIDEO CAPTURE ERROR => REAR CAM	後方カメラが連結されている信号がなく、映像が入ってこない場合（後方カメラケーブルとカメラとの接触不良、ケーブル断線の疑い）
VIDEO CAPTURE ERROR => FRONT CAM	前方カメラの映像が入力されていない場合（本体故障の疑い）
POWER OFF	LBP機能（バッテリー保護）により本機の電源がOFFになる記録
AUTO REBOOT(時:分)	自動再起動した時間の記録
ACTIVE(時:分)	各種動作確認を行った記録(自動再起動設定がOnの場合には指定された時間の12時間後に記録、自動再起動がOffの場合は自動再起動に設定されている時間の12時間後の記録)
APP START	初期起動時の記録（ACC接続時は、毎電源ON時に記録される）
POWER START	LBP機能（バッテリー保護）により本機の電源がOFFした後、本機が再起動した記録
APP EXIT	本機の動作を停止（アプリケーションソフトウェアのストップ）した記録
REAR CAM DISCONNECTED	後方カメラの接続が解除された時
REAR CAM CONNECTED	後方カメラ接続時
VIDEO CAPTURE INVALID => FRONT CAM	前方カメラが損傷されて映像が入力されない場合
SYSTEM INT	設定値を初期化した時
SETUP CHANGE ! POWER REBOOT	スマホから設定変更を行い再起動を行った時

※ 本機の異常が生じた時にLogファイルを見て状況を確認できます。このファイルはSDカードのConfigフォルダーにあります。

13. 製品保証

無償修理について

- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で異常・故障が発生した場合は、表記の期間無償修理致します。
- 無償修理を受ける場合は、お買い上げの販売店もしくは当社にお申し付け下さい。
- 保証期間内であっても取付や取外しに際して発生した費用や設置個所の損傷等は保証の対象となりません。
- ご贈答品または転居などで保証書に記入の販売店で修理を受けられない場合には、当社へご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

保証免責事項（保証期間内でも以下の場合には有償修理になります）

- 1) 誤った使用や不当な改造で生じた故障・損傷
- 2) お買い上げ後の輸送や落下などで生じた故障・損傷
- 3) 本書のご提示がない場合
- 4) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、字句が書き換えられた場合
- 5) お取付後の移設等に起因する故障・損傷
- 6) 自然災害や外的要因によって生じた故障・損傷
- 7) 消耗品（SDカード・バッテリー・ディスプレイ）は保証対象外になります。

その他免責事項

- 本製品の使用に起因する障害や損失利益の請求等につきましては、上記に関わらず当社はいかなる責任も負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計・製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、当社はいかなる責任も負いかねますので予めご了承ください。
- 修理・点検の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容・記録した映像データは全て消去されますので、予めご了承ください。

製品保証書

保証期間 ご購入日から1年

製品名 AMEX-A07 / A07W / A07TR

この保証書は、取扱説明書に基づいた使用状態で異常・故障が発生した場合、保証書の記載内容にて無料修理を行うことをお約束するものです。お買上の際に販売店印・ご購入日が記載されていることを確認してください。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

製品 Serial No	
ご購入日:	年 月 日
お名前 :	
ご住所 :〒	
電話番号:	()
販売代理店(店名・住所・電話番号)	

製造元(修理品送付先)

株式会社青木製作所

〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町2917-1

TEL 027-320-2677(アメックスアルファ内)

【受付時間】 AM9:00~11:00/PM13:00~16:00

■ メールでのお問い合わせ

お問い合わせフォームより質問を送信してください。

<http://www.aokiss.co.jp/contact.html>

各種情報はホームページあるいはamex公式サイトをご覧ください。

【青木製作所 HP】



www.aokiss.co.jp

【amex公式サイト】



www.aoki-amex.com



AMEX-A07 / A07W / A07TR